



会報 シルバー きたかた

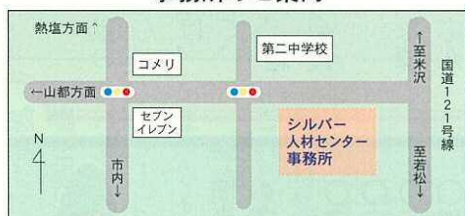
第54号
平成28年 1月 1日



小荒井初市

400年以上の歴史を誇る「ふるさと喜多方蔵の市」の小荒井初市はふれあい通りで開かれます。会場には「起き上がり小法師」やだるまなどの縁起物、食べ物などを扱う露店が並びます。

事務所のご案内



■12月1日現在の会員数■
男263名・女100名
計363名

■12月1日現在の就業実績■
104,096,463円

自主・自立、共働・共助、就業の心構え

- 一、われらは、シルバー人材センターの目的に誇りをもって働きます。
- 二、われらは、豊かな経験を生かして仕事にとり組みます。
- 三、われらは、責任をもって誠実に仕事を行います。
- 四、われらは、社会参加に喜びと生きがいを求めます。
- 五、われらは、健康と安全に留意します。

公益社団法人 喜多方市シルバー人材センター

〒966-0802 福島県喜多方市字桜ガ丘二丁目147番地1 発行責任者 冠木 啓次
電話 (0241) 23-1313 FAX (0241) 23-1316



新年のご挨拶

理事長 冠本 啓次

新年明けましておめでとうございます。

皆様には、ご家族ともども輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて今年度、当センターも労働者派遣事業の一步を踏み出し、適正就業との関連で派遣労働へのシフトが来年度以降も拡大すると思われる中で、国会では労働者派遣法が改正されました。

このような、時代の荒波を受けつつ、いやおうなく対応しなければならぬ制度的なことから、その一方で、常にシルバーの「自主・自立・共働・共助」の原点に

立ち返り、この地域の特性を踏まえつつ、地域貢献の歩みを一丸となつて進めていかなければなりません。

そのために、現在当センターが抱えている課題は、少子高齢化、人口減少という地域の現実を反映して、高齢会員の退会が多く、入ってくる会員が少なく、結果として会員減少となり、それぞれの職種につく会員が不足しているというところであります。

これは、当センターばかりの課題でなく、様々な原因も考えられますが、この地域の活性化、要請に応えられるためには、皆様とともに力を合わせて、新たな発想も取り入れながら、一步一步行くべきものと考えます。

皆様にとつて本年も良い年でありますようにお祈りいたします。



新年のご挨拶

喜多方市長 山口 信也 様

新年明けましておめでとうございます。

皆様方におかれましては明るく、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

貴シルバー人材センターにおかれましては、積極的な事業の受諾により会員の皆様に広く就業機会を提供されるなど、活力ある高齢社会の構築に大いに貢献されておられますことに対して心から敬意を表する次第であります。

急速に進む高齢化社会で労働力人口が減少する中、

高齢者が生涯現役として多様な形で社会参加をすることが求められており、会員の皆様の豊かな知識と経験を活かす貴シルバー人材センターが地域で果たす役割はますます重要となっております。

市といたしましても、就労機会や会員の拡大等シルバー人材センター事業の充実に向けた支援を行ってまいりますので、会員の皆様におかれましては、働く喜びや生きがいの創造など活力ある地域社会の実現に向け、更なるお力添えをお願い申し上げます。

結びに、貴センターの益々のご発展と、会員の皆様方のご多幸を心よりご祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

年間事業予定

シルバー人材センターの年間事業予定は次のとおりです。
のでよろしく願います。

- 定時総会 年一回
- 定期監査 年二回
- 三役会 年六回
- 理事会 年六回
- 入会説明会 月一回
- シルバーの日奉仕作業 十月
- 総務財政部会
- 安全適正就業委員会 巡回パトロール
- 介護支援事業委員会 介護予防教室
- 料理講習会
- 健康講座
- 広報委員会 広報誌発行
- 独自事業委員会 彼岸花・正月飾り製作
- 会員レクリエーション
- 忘年会
- 新年会

平成二十八年度は、理事・監事役員の改選が行われました。公示につきましては、「会報きたかた臨時号」にて皆様にお知らせいたします。



シルバーの日清掃ボランティア



シルバーの日（10月15日）に清掃奉仕作業として、プラザ北通りと交差する南北線の除草、剪定作業を行いました。

その他市内では、東町公園等、塩川地区では、塩川駅前周辺、山都・高郷地区では、それぞれの地区の老人福祉施設の清掃奉仕を行いました。



就業風景



シルバー人材センターへの仕事の依頼は、草むしり、草刈、剪定等の受注件数が多いのはもちろんですが、季節的なものである種蒔き・田植え補助、雪囲い、除雪等も一定期間かなり込み合います。

その他、さまざまな依頼が飛び込んできますが、ここに「就業風景」としてあげたのはその一端に過ぎません。会員の皆さん、ぜひいろいろな仕事にチャレンジしてください。



防草シート張り



キュウリの収穫



唐辛子の苗植え



シイタケ原木撤去作業



交通量調査



稲刈り補助



除雪作業

会員のひろば



ルーキーイヤー

齋藤 貞夫さん

三月の説明会の後、五月にシルバードビュを果たしました。主に農作業に従事しましたが、何と新発見の連続でした。先ず、水田の面積は、一枚当り二反か三反ぐらいと思っていました。現在では一區画一ヘクタールの水田もあるとか。しかも、種籾の直播もできるといふから驚きました。

また、キュウリ収穫のお手伝いにも行きました。早朝の薄暗い時からキュウリを挽ぎ始め、昼食もさながらに追い立てられます。キュウリの成長があまりにも速く、朝夕二回の収穫で汗を拭くのもままならないといひます。

新年に当り、私を説明会に誘っておきながら、本人は未登録のままの友人を、今年こそはシルバーに引き入れる策を練っているところだ。

加えてシルバースセンターに入会していなければ、知り得ることができなかった機会をいただいたことに感謝したいと思います。



仕事の楽しみ

堀金 勝正さん

同じ高郷町のシルバーの方に入っていないかと誘われて入会して、もう四年が経ちます。

シルバーに入会してから仕事は、駅の除雪作業や草刈作業などを主にやってきました。仕事は大変ですが、自然の中で汗をかき、経験豊かな先輩方の話を聴きながら、屋は木陰で昼食を食べるのがこんなに美味しいのかと思いました。

そして、今までとは違う新しい友人もできて、楽しく作業をさせて頂いています。その草刈作業は喜多方市全域といつてもいいほどであり、私が初めて行くところが多く楽しみです。

また、一緒に作業をされてる方々も私より年配の方が多く、皆さんも元気で作業をされています。私も皆さんと同じ位の年齢まで元気にやっていけるのかなと思ひながらも一生懸命頑張っています。

今年も健康で、身体に無理せず自分のできる範囲で、いろいろな仕事に挑戦してみたいと思っています。



新しい出会い、初めての仕事

松本 栄一さん

シルバーに入会して、あつという間の二年間でした。友人から、シルバーへ入会しないかと話があり、その時はあまり乗り気ではなかったのですが、妻の勧めもあり入会することになりました。入会してみると新しい出会い、今までやったことのない仕事で不安な日々でしたが、世の中には良い人が沢山おられて、何とか継続していくことができそうです。

初めての仕事は除雪の仕事でした。本当に冬の寒い中での仕事でしたが、その家のもてなしに身も心も温まる思いでした。

その後農作業や雪囲いの仕事もありましたが、喜多方地区の色々なところでの仕事で大変な時もあり、また、やったことのない作業がほとんどなので毎日が勉強でした。折に触れ人の心の温かさを痛感しました。会員の皆さんのバイタリティには感心しています。朝早くまだ就業時間にならないのに、準備万端、皆さんの仕事に対する意気込みが伺えます。これからも自分なりに皆さんの足手まといにならないよう、また、仕事の後の晩酌を楽しみに続けていきたいと思っておりますので、会員の皆さん、事務局の皆さん、今後ともよろしく願ひします。

依頼者からの声

輝くシルバー世代



瓜生 賢恵様
以前より、
シルバー人材

センターの皆さまにお世話になっており、大変助かっております。庭木の剪定や雪囲いなど、専門職に劣らぬ技術に感心し、職域の広さに驚いております。

超高齢化社会の昨今、シルバー世代の皆様の活躍が地域社会に与える影響は大なるものがあると考えます。澁刺とした皆様の仕事を拝見する度になお一層のご活躍を期待申し上げます。

最後に、シルバー人材センター様の益々のご発展を祈念申し上げます。



街路樹雪囲い

新しい仲間のご紹介 (敬称略)

平成二十六年十二月
～平成二十七年十一月まで

氏名	班名
岩本和盛	松山
若菜英喜	岩月
堺英次郎	熊倉
高久明子	岩月
佐藤久雄	関柴
星義雄	関柴
松崎孝次	岩月
齋藤貞夫	喜四
渡部友子	岩月
仲島勝	喜二
齋藤義行	上三宮
小熊みどり	豊川
熊田和恵	喜四
平田俊次	堂島
鈴木誠	塩川
加藤一栄	塩川
築田千佳子	堂島
花見正	駒形
吉田健治郎	駒形
大友治	山都四
佐藤義英	山都二
生江春雄	山都二
小林登美子	高郷
安部久光	山都三
渡部正	高郷
佐藤熊喜	山都一

シルバー人材 いろはかるた

命づな 結んだ先は わが命
論よりは たくみに仕上げる お客様の信頼
ハイ! 元気 今日頑張る 仲間の絆
日報は 適正報告 良き信頼
ほっとする 仕事の出来栄え ハイ! 見て下さい
下手上手 皆の知恵で 良い仕事
年寄りの 知恵と経験 伊達じゃない (荒井 武栄 会員作)

計報

ご冥福を心より
お祈り申し上げます

山口 勇 様 七十八歳 (慶徳班)
鈴木 次雄 様 八十三歳 (桜方丘班)
渡部 利夫 様 七十四歳 (姥堂班)



人との触れ合い
に感謝

鈴木 サイ子 さん

私は西会津町出身で、六十歳を目前にして急に農業に関心を持ち、縁あって山都町にUターンしてきました。シルバー人材センターがあることは知っていましたが、内容は知らず、とりあえず説明会に出て、すぐ手続きしました。

月二、三回の山都保育所のお掃除、孫と同じ年頃の子供たちを見られて、行くたびに楽しんでます。知人の子供達も入所しているのので、会ったら「ハイ、タッチ」などしてくれる時もあり、うれしいです。

今は、「いいでのゆ」の朝の掃除をしています。吹雪でも通えるので大満足です。いろいろなお客様が東京、横浜、新潟などから大勢いらっしゃいます。「おはようございます」「いらつしやいませ」を連発しながら、人と触れ合えることに喜びを感じています。

この十二月で一年が経ちました。いまは仕事から帰ったら、あれしよ、これしよと忙しく動いています。勤めていない時より農作業が順調なので不思議……。シルバー人材センターに入会してよかったと思っていますし、六十歳を過ぎて、働ける場を提供していただけるシステムに感謝しています。

花き園芸クラブ



あなたも菊花栽培を
やってみませんか

花き園芸クラブ会長

手代木 庄一さん

本年度活動計画の菊花栽培講習会を、六月二十七日、喜多方菊花愛好会の「都倉清久氏」を講師に実施しました。会員八名が受講、基礎から指導して頂きました。

先生の菊花栽培に対する熱意に自分は今までやってきたことの違いに気付かされました。二回目の講習会を八月二十九日に実施、その間にも先生は会員を一人一人を訪問し、熱心に指導して頂き、今までにない出来栄に会員一同喜んでおります。

その他の事業で、七月四日に草木寄せ植え講習会を、会員の佐藤光衛氏を講師に実施しております。

今、園芸クラブは、会員の高齢化により少なくなっておりますので、一人でも多くの会員を募っております。お待ちしております。

独自事業

彼岸花・正月飾り

会員募集中



センター事務所の
今昔

庄司 義信さん

シルバー人材センターの事務所を知ったのは三十何年前のことですが、今でも記憶がいくつか残っています。事務所は厚生会館一階にあり、そこには現場係と思われる濁った声のおじさんがいました。日焼けした男性（作業服を着ていました）が忙しく出入りしていました。事務所内のことは清楚に優しく装った女の人が次々と担っていました。

当時、私は教育委員会で働いていました、その事務所が偶然にもセンターの二階でした。上と下ということもあって、お茶や菓子をご馳走になったことが思い浮かびます。

現在の事務所は北に寄った所にあります。建物のいいよ古くなってきたようです。十分な広さの事務室、会議室、それに作業室が必要かと思えます。加えて広い駐車スペースも是非願いたいと思います。

会員になって三年が過ぎ、話しを交わす仲間もできました。外に出ることにより、体調にいつそう神経を払うようになりました。仕事を通して「無かつ有」を実感する日々です。

● 配分金収入に対する 所得税の取扱いについて ●

シルバー人材センターで得た配分金収入等に対する所得税の取り扱いは、以下のとおりであります。

1. 配分金収入は、所得税法上『雑所得』に区分されます。雑所得の金額は原則として雑所得の総収入金額から必要経費を控除した額です。従って、配分金収入に係る必要経費の額は、65万円以上ある場合、配分金収入から必要経費の全額を控除とします。
2. しかし、必要経費の額が65万円未満の場合は、『租税特別措置法』第27条の適用により、65万

円を上限として控除します。（ただし、収入金額を限度とします。）

3. 公的年金を受給している会員は、配分金収入とは別に公的年金等控除の申請ができます。
4. 給与収入のある会員は、最低65万円（ただし収入金額を限度とします）の給与所得控除が受けられますが、その場合、配分金収入に係る控除額は、65万円から給与所得を控除した残額が限度であります。

なお、配分金収入、給与収入、公的年金収入以外の収入がある場合の所得控除及びその他の控除については、最寄りの税務署にお尋ねください。

あとがき

新年明けましておめでとうございます。

新年を迎えて交わすあいさつは、日頃のあいさつとはまた違う清々しさを覚えます。

近年は、隣にどんな人が住んでいるかわからないなどと、希薄な人付き合いが取りざたされますが、幸いこの町には昔ながらの人情が生きています。

今年も、会員同士はもとより、家族やそれぞれの地域においても、お互いに助け合い、笑顔が絶えない雰囲気をつくっていただきたいと思います。

ここに会報五十四号をお届けします。今後も、さらに内容の充実した会報作りのため、多くの皆様のご感想やご意見などをお寄せくださいますようお願いいたします。

理事	冠木 啓次
広報委員長	江花 章
副委員長	菊地 廣明
委員	山田 隆雄
委員	蓮沼 清明
委員	宇津木 善春